

ゆりかごだより



2020年9月発行 No.43



連日強い日差しが照りつけ身体にこたえる暑さが続いています。ツクツクボウシの鳴き声に少し秋の気配が感じられるようになりました。まだまだ残暑も厳しい予報です。夏の疲れと季節の変わり目で体調を崩しやすい時期になります。早めの休息・十分な睡眠を心がけましょう。

病児保育室ゆりかごでは、新型コロナウイルス感染症に今後も慎重に対応する必要があると考え、お預かりできる疾患・症状・また人数等について制限させていただいております。詳細はお電話にてお問い合わせください。引き続きご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。



9月1日は「防災の日」 家庭でも備えを



防災頭巾

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家で過ごす時間も増えていると思います。災害対策として家具の転倒・避難路の確保など、今一度家庭内の安全を見直しましょう。



避難用持ち出しリュック

ゆりかごでは、毎月の避難訓練時に、飲料水や持ち出し品・備蓄品等の点検・見直しをしています。

登録をご希望の方は



登録は平日の開室時間内に随時受け付けております。一組ずつ玄関にて、リーフレットを用意し説明時間を短縮して対応させていただいております。お電話にてご予約をお願いいたします。

登録時に必要な書類等

1. 堺市病児・病後児保育登録申請書
2. 児童票（写真 4.0×3.5 cm）
3. 保険証・こども医療証・母子手帳
4. 同意書に押印



※登録時に必要な書類は、区役所・各園・各病児保育室にあります。また、ゆりかごのHPからもダウンロードできます。
※所得に応じて利用料の減免があります。証明書をご提出ください。詳しくはお問合せください。



看護師より

～咳の見分け方～

秋になると、空気が乾燥し冷たくなってきます。夏に比べると、秋は気温や気圧の変化が大きく咳などの症状が出やすい季節です。咳は気道の異物や、炎症による分泌物を排除しようとする防御反応です。

咳には主に2種類あります。1つはアレルギーや風邪、気管支炎、咳喘息などに見られる“コンコン”といった乾いた咳。そしてもう1つは“ゴホンゴホン”という湿った咳です。気道の炎症が進み、分泌物が増えて痰がからんだ咳です。肺炎や、気管支喘息など注意が必要です。また鼻水がのどの奥に垂れ込み、痰がからんだような咳になることもあります。

いずれの咳も早めの診断、治療が大切です。どのような咳が・どんな時に・どのくらい出るか・どのくらい続いているかといった情報が診断に役立ちます。



堺市訪問型病児保育センター

サポート会員が利用会員の自宅等を訪問し病気などのお子さんを保育します
病児保育施設への送迎も行います
詳しくはホームページをご覧ください
<http://yurikagonetwork.com/houmon>



病児保育室ゆりかご

開室時間 平日 8:00～18:00
〒599-8247 堺市中区東山 1042-1
電話/FAX 072-234-6880

<http://yurikagonetwork.com/hoikushitsu/>



事前登録は平日の保育の状況に合わせて時間を調整させていただきます。詳しくはお問い合わせください。